

目 次

1.	第三者評価結果報告書1	
2.	評価基準と報告書の読み方2	
3.	全体の評価講評3	
4.	事業所が特に力を入れている取組4	
5.	組織マネジメント評価結果5	
6.	サービス分析評価結果16	6

巻末資料:利用者調査集計結果報告書

1. 第三者評価結果報告書

	評価機関名	有限会社 TCP
	所在地	東京都西東京市東伏見3-5-36-101
評価実施機関	評価機関認証番号	機構06-166
	電話番号	042-452-8021
	代表者氏名	鈴木 純平

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

	Ē	平価者	氏名	1		担	当分	野		修	了者:	番号
評価者氏名等	① 小野岬	奇 透				di.	経営			Н	116010)88
	② 鈴木	純平				1	福祉			Н	107010)17
利用者調査実施期間	2021	年	11	月	15	日	~	2021	年	12	月	6日
自己評価実施期間	2021	年	11	月	15	日	~	2021	年	12	月	6日
訪問調査実施日	2022	年	2	月	17	日						
目的	の規定に	基づる 公の	ー き、 施設	川用者	首本位 ての・	立の サー	サービス	-ビス 水準	実現 のよ	のたりー	めに	書第29条 第三者評価 維持向上に
対象者	施設管理者											
実施方法	施設管理者の自己評価に基づく聞き取り調査による											
評価対象施設名	港区立健康増進センター(ヘルシーナ)											
指定管理者名	医療法人	財団	百類	葉の会	숲							
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで											
	₹	107-0	0052	!								
施設所在地・連絡先	所在地	港区	赤坂	4-18	-13	赤	坂コ	ミュニ	ティー	一ぷ	らざ(6階
	TEL	03-5	413-	2717		F	AX	03-	-541	3-2	718	
所管課	みなと保	建所促	建康排	進 記	果健」	東つ	うくり	係				

2. 評価基準と報告書の読み方

評価ポイント

以下の基準に基づく評価をしています。

Α	評価項目全てができている(カテゴリー1~7) 改善に向けた計画的な取組みが行われており、成果として現れている(カテゴリー8)
В	評価項目の一部ができている(カテゴリー1~7) 改善に向けた計画的な取組みが行われているが、成果として現れていない(カテゴリー8)
С	評価項目全てができていない(カテゴリー1~7) 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない(カテゴリー8)

報告書の読み方

「標準項目」の実施状況、経営層および職員自己評価結果、利用者アンケート結果、訪問調査等を参考に、上記の評価基準に従い各評価項目の実施の確認をしています。標準項目の実施が確認できた場合は〇、未実施・確認不可の場合は●で表しています。

I 講評欄に、各評価項目に対する評価機関のコメントを記載しています。

■カテゴリー1 組織マネジメント

評価項目 1-1

サブカテゴリー1(1-1)

事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている							
評価項目1 事業所が目指	評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している						
評価	標準項目						
→ 0	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針な	ど)を明示している					
0	O 2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解 が深まるような取り組みを行っている						
0	O 3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本の や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている						
0	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指ン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行きるなど)						
	カテゴリー1の講評						

■タイトル

>■講評内容

3. 全体の評価講評

		特に良いと思う点
	タイトル	研究発表の機会を通じて、事業所では職員のモチベーション向上に取り組んでいます
1	内容	毎年度、事業計画に研修計画を示し、テーマ別の施設内研修を行うとともに、法人研修、外部研修に職員を派遣し、スキルアップを支援しています。さらに法人には「こやま研究発表会」として実践研究の発表、共有の機会があります。当施設は昨年度、ビニール袋の再利用の事例で表彰されました。社会的に環境負荷の軽減も求められ、かつ研究発表は、職員のモチベーションも高まることから、事業所では積極的に研修、研究活動に取り組んでいます。
	タイトル	理念をサービス提供に反映し、行動指針を判断の基礎資料として大切にしています
2	内容	職員は全員、理念、ビジョン、行動指針を明示したクレドカードを携帯し、サービスの実践で判断に 悩む際には参照しています。朝礼では行動指針を復唱したのち、施設長は指針に応じた事例や、そ の解釈について説明し、職員が指針に沿ったサービス提供するよう取り組んでいます。法人研修で 学習するほか、職員会議で判断をする際、理念・行動指針に照らして妥当か、検討したうえで決定 するなど、理念を実践に生かす取り組みを積極的に行っています。
	タイトル	専門性の高いプログラムを提供し、栄養と運動が連動した健康づくりの取り組みが 行われています
3	内容	健康度測定(健康・体力チェック)では、適切な実施に向けて健康度測定マニュアルを整備し、一人ひとり個別の健康度測定計画を作成しています。問診票とトレーニングカードに基づく健康トレーニングメニューに従って状態をチェックしながら、プログラムを提供しています。健康度測定では、測定結果に基づき、健康運動指導士や理学療法士による個別の運動メニューの作成や管理栄養士や医師によるカウンセリングなどが行われ、栄養と運動が連動した専門性の高い健康づくりおよび生活習慣予防・改善の取り組みが行われています。
		さらなる充実が望まれる点
	タイトル	感染症予防対策を講じながら、引き続き運動機会の提供に取り組むことを期待しま す
1	タイトル 内容	
1		す 自粛、行動制限のため、新型コロナ禍以前の利用者数と比べると大幅な減少は続いています。それでも利用者の安全を確保するため「時間制」「定員制」「予約制」などを導入し、感染症対策を実施ながら、利用者の健康増進の機会の提供に努めています。今後も感染の状況を確認しながら、サービスの提供を継続されることを期待します。特に高齢者の場合、廃用症による機能低下のリスクも高いことから、利用者のリスクを踏まえた柔軟な取り組みを期待します。 子育て世代や若年層のさらなる利用促進を図るため、二一ズを捉えた情報発信の方法や工夫の検討が期待されます
2	内容タイトル	す 自粛、行動制限のため、新型コロナ禍以前の利用者数と比べると大幅な減少は続いています。それでも利用者の安全を確保するため「時間制」「定員制」「予約制」などを導入し、感染症対策を実施ながら、利用者の健康増進の機会の提供に努めています。今後も感染の状況を確認しながら、サービスの提供を継続されることを期待します。特に高齢者の場合、廃用症による機能低下のリスクも高いことから、利用者のリスクを踏まえた柔軟な取り組みを期待します。 子育て世代や若年層のさらなる利用促進を図るため、ニーズを捉えた情報発信の
	内容 タイトル 内容	す 自粛、行動制限のため、新型コロナ禍以前の利用者数と比べると大幅な減少は続いています。それでも利用者の安全を確保するため「時間制」「定員制」「予約制」などを導入し、感染症対策を実施ながら、利用者の健康増進の機会の提供に努めています。今後も感染の状況を確認しながら、サービスの提供を継続されることを期待します。特に高齢者の場合、廃用症による機能低下のリスクも高いことから、利用者のリスクを踏まえた柔軟な取り組みを期待します。 子育て世代や若年層のさらなる利用促進を図るため、ニーズを捉えた情報発信の方法や工夫の検討が期待されます 施設に関する情報は、パンフレットやリーフレットの配付、港区および法人のホームページへの掲載などを通じて、幅広く発信しています。一方、施設では子育て世代や若年層の利用促進を考えていることから、今後はさらに、ソーシャル・ネットワーク・システムの積極的な活用など、利用者ニーズを捉えたさらなる情報発信の方法や工夫を検討していくことが期待されます。また、子育て世代や若
	内容 タイトル 内容	す 自粛、行動制限のため、新型コロナ禍以前の利用者数と比べると大幅な減少は続いています。それでも利用者の安全を確保するため「時間制」「定員制」「予約制」などを導入し、感染症対策を実施ながら、利用者の健康増進の機会の提供に努めています。今後も感染の状況を確認しながら、サービスの提供を継続されることを期待します。特に高齢者の場合、廃用症による機能低下のリスクも高いことから、利用者のリスクを踏まえた柔軟な取り組みを期待します。 子育て世代や若年層のさらなる利用促進を図るため、ニーズを捉えた情報発信の方法や工夫の検討が期待されます 施設に関する情報は、パンフレットやリーフレットの配付、港区および法人のホームページへの掲載などを通じて、幅広く発信しています。一方、施設では子育て世代や若年層の利用促進を考えていることから、今後はさらに、ソーシャル・ネットワーク・システムの積極的な活用など、利用者ニーズを捉えたさらなる情報発信の方法や工夫を検討していくことが期待されます。また、子育て世代や若年層に受け入れやすいプログラムの開発・提供も望まれます。

4. 事業所が特に力を入れている取組

事業所が特に力を入れている取組①

タイトル	健康増進に関する最新の理論、実践を区民に還元するよう努めています
内容	当施設では、「攻める健康管理」をキャッチフレーズに、区民向けの様々な教室を開催して、職員のもつ専門性を地域に還元しています。この専門性の確保に向けて、職員は自己研鑽を行うとともに、事業所としては、最新の理論・実践に取り組む外部の専門研修に職員を派遣しています。受講した職員は報告書の作成を通じて振り返りを行い、発表を通じて成果を全体で共有し、新しいテーマの教室を開発することに役立てています。さらに利用者が安全に、安心して教室に参加できるよう施設内研修では、感染症予防対策について学び、実践に取り組んでいます。

事業所が特に力を入れている取組②

タイトル	区民の意見やニーズを踏まえて運営改善に取り組んでいます
内 容	毎年1回、利用者アンケートを行っています。アンケート結果は、レポートにまとめて集計による定量的分析、自由記述などの定性的分析を行って、サービスの質の向上に向けた運営改善の基礎資料として役立てています。さらに利用者との懇談会を開催して、直接、意向を把握する機会をもつなど、ニーズの把握に取り組み、新しい教室の開発に役立てています。また、港区が運用する「広聴」制度に寄せられた意見を真摯に受け止め、全体会議で共有して改善に努めるなど、区民の意見、ニーズを踏まえた運営に取り組んでいます。

■カテゴリー1 リーダーシップと意思決定

評価項目 1-1

пшур .							
事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている							
評価項目1 							
事業所が目指し	していること(理念、基本方針)を明確化・周知している						
評価	標準項目						
0	O 1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取組を行っている						
0	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など) 人や家族等の理解が深まるような取組を行っている	こついて、利用者本					
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業 A 所をリードしている						
評価	標準項目						
0	O 1.経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている						
2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に の 向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リー ダーシップを発揮している							

評価項目 1-1

事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている

評価項目3

重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決 定し、その内容を関係者に周知している Α

評価	標準項目	
0	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まってし	าอ
0	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員	に周知している
0	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、 容と決定経緯を伝えている	必要に応じてその内

カテゴリー1の講評

|理念、ビジョン、行動指針を示したクレドを携帯し、判断に悩む際に参照しています

法人の理念・方針、ビジョンは事務所内に掲示するほかホームページに公開し、広く周知に努めています。さらに法人と事業所の事業計画には、ビジョンを明示し、理念が具体的な事業に反映するよう取り組んでいます。職員は全員、理念、ビジョン、行動指針を明示したクレドカードを携帯し、サービスの実践で判断に悩む際には参照しています。法人研修で学習するほか、職員会議で判断をする際、理念・行動指針に照らして妥当か、検討したうえで決定しています。行動指針は朝礼で唱和し、サービス提供における基本として職員の意識づけを行っています。

毎日の朝礼で行動指針を唱和し、サービスの実践に指針を反映するよう努めています

年度末には次年度の事業計画を作成し、基本理念、運営方針、運営目標を示し、職員と共有しています。朝礼では「こやまケア行動指針」を復唱したのち、施設長は指針に応じた事例や、その解釈について説明し、職員が指針に沿ったサービス提供するよう取り組んでいます。職員会議を通じて情報の共有を行い、同時に職員の意見を集約して、課題があれば改善に向けて全職員が取り組めるようマネージメントするなど、施設長はリーダーシップを発揮して運営管理に努めています。

事案の重要度に応じて、法人・事業所との連携のもと決定しています

重要な案件の検討・決定手順について、運営に関わる重要な案件は法人の手順に従い、事業所内で解決すべき課題は管理者の判断、または職員会議での検討、決定を行っています。法人の判断が必要な案件では、法人決裁権限等(事務手順)に従って承認を得て、決定しています。毎月第三水曜日に全体会議を開催し、施設の状況の確認や、法人の決定事項の報告、職員の意見集約などを行っています。決定事項、報告事項は、朝礼での口頭説明、引継ぎノートで共有するほか、利用者に関わることは掲示、口頭説明を通じて周知に努めています。

■カテゴリー2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策 定と実行

評価項目 2-1

事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している							
評価項目1	評価項目1						
事業所を取り巻	く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している						
評価	標準項目						
0	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用情報を収集し、ニーズを把握している	者の意向について					
0	〇 2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している						
0	〇 3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している						
0	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情 ニーズを把握している	報を収集し、課題や					
0	5. 事業所の経営状況を把握・検討している						
0	O 6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している						

評価項目 2-2

実践的な計画策定に取り組んでいる						
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた A 中・長期計画及び単年度計画を策定している						
評価	標準項目					
0	O 1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している					
0	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している					
0	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている					

評価項目2		_
着実な計画の乳	単行に取り組んでいる	Α
評価	標準項目	
0	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)(画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目測る指標を明示している	
0	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、 をしながら取り組んでいる	必要に応じて見直し
	カテブリー2の業証	

カテゴリー2の講評

利用者アンケートは定量的、定性的分析を通じて、サービスの改善に役立てています

毎年1回、利用者アンケートを行っています。アンケート結果は、レポートにまとめて集計による定量的分析、自由記述などの定性的分析を行って、サービスの質の向上に向けた運営改善の基礎資料として役立てています。職員の意向は、毎月の全体会議での意見集約するほか、目標管理面談などで個別に把握し、必要に応じて全体で共有し、改善につなげています。地域の保健福祉の現状は、毎年、懇談会で利用者の意見を聞く機会をもつほか、港区の地域保健福祉計画の健康増進施策や、赤坂地区総合支所運営会議での説明で把握しています。

政策の方向性やアンケート結果を通じて課題を抽出し、解決策の検討を行っています

保健福祉事業全体の動向は、法人の経営基本会議、法人会議で国、東京都の政策の情報提供を受け、職員と共有するほか、専門誌等によって情報収集しています。予算の執行状況は、定例で開催されるグループの経営基本会議、法人会議で報告し、必要な指導、助言を受けています。さらに港区には、事業計画・予算、事業報告・決算の報告を通じて、経営状況について情報を共有しています。利用者アンケート結果や法人会議・全体会議、港区の政策の方向性などを踏まえて課題を抽出し、解決に向けた改善策を検討しています。

グループ、法人では、数値目標のほか実践など質的評価で振り返りを行っています

指定管理上の長期計画に沿って、複数年にわたる計画的な事業の推進に努めています。さらに法人では3カ年の中期計画を作成しており、これらを踏まえて毎年度事業計画、予算を作成し、計画的な事業の運営に努めています。法人では5月にビジネスプランミーティング、9月にグロスプランミーティングを開催し、グループ、法人、事業所の目標・結果を共有し、定量的な数値目標、実践などの定性的な目標の管理を行っています。さらに職員は目標管理シートを使って、個人の目標設定、進捗管理、振り返りを行って業務の質の向上を図っています。

■カテゴリ一3 経営における社会的責任

評価項目 3-	-1		
社会人・福祉さ	ナービス事業	美者として守るべきことを明確にし、その達成に	こ取り組んでいる
評価項目1 社会人・福祉サ 知し、遵守される		事する者として守るべき法・規範・倫理などを周 んでいる	Α
評価		標準項目	
0		対して、社会人・福祉サービスに従事する者として 尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるように取り	
0		対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含き 且み、定期的に確認している	む)などが遵守される
評価項目 3-	-2		
利用者の権利接	雑護のために	こ、組織的な取り組みを行っている	
評価項目1			

評価項目1 利用者の意向(体制を整えてい	意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する る	Α
評価	標準項目	
0	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠とを、利用者に伝えている	虚虚なく利用できるこ
0	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかりある	こ対応する仕組みが
評価項目2 虐待に対し組織	的な防止対策と対応をしている	Α
評価	標準項目	
0	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行わ 職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹	
0	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、」	虐待の事実を把握し

評価項目 3-3

0

地域の福祉に役立つ取り組みを行っている

評価項目1		_
透明性を高め、	地域との関係づくりに向けて取り組んでいる	Α
評価	標準項目	
0	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど よう取り組んでいる	開かれた組織となる
0	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などのはしている	受け入れ体制を整備

た際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている

評価項目2		Α		
地域の福祉ニー	地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている			
評価	標準項目			
0	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいり組みをしている	かした地域貢献の取		
0	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係 (事業者連絡会、施設長会など)に参画している	機関のネットワーク		
O 3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組ん でいる				
	カテゴリー3の講評			

行動指針を毎日唱和し、日々の介護実践に反映するよう取り組んでいます

法人では、就業規則の服務規程の遵守を職員に求めるとともに、10項目からなる「こやまケア行動指針」を示 しています。事業所では、朝礼での唱和、施設長の講和を通じて、日々の実践で行動指針をサービスに生か すよう取り組んでいます。また、クレカカードを携帯し、判断に悩む際は参照するよう努めています。指針は理 念、方針、ビジョンとともに法人の全体会議や新卒、中途採用の職員研修で学ぶ機会があります。港区では 「広聴」(広く聴く)制度を運用しており、区に寄せられた施設や健康増進策に関する意見を共有し、運営改善に 努めています。

区民の声をサービスの改善に生かすよう取り組んでいます

ホームページで情報提供を行っています。さらに随時に見学者を受け入れるほか、定期に第三者評価を受審 するなど、情報開示に積極的に取り組んでいます。区民・区内在勤者のニーズを分析し、高齢者、女性、子育 て中の保護者など、様々な対象者を想定してプログラムを開発し、サービス提供を通じて利用者の健康増進 の支援を行っています。医師、管理栄養士、健康運動指導士が連携して、利用者の「健康度測定」を行い、個 人にあった健康トレーニングメニューの作成を通じて、利用者のトレーニングの支援に努めています。

教室には区民の幅広いニーズに応じて介護予防事業にも取り組んでいます

健康増進に加えて、理学療法士が中心となって介護予防事業にも取り組み、メニューにリハビリも取り入れる など、区民の幅広いニーズにも応えるよう努めています。また、赤坂コミュニティ祭りの運営に参加し、地域の 一員としての役割を担うほか、総合支所が多世代交流促進事業の一環として行っているスタンプラリーなどに も協力しています。赤坂地区総合支所運営会議に参加し、行政の担当者をはじめ、地域の関係者と顔の見え る関係づくりに努め、地域が抱える課題に協働して解決に向けた取り組んでいます。

■カテゴリー4 リスクマネジメント

評価項目 4-1

日 重 次 口 ト			
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる			
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる			
評価	標準項目		
0	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリ 侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに て優先順位をつけている		
0	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとって	いる	
0	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計いる	画(BCP)を策定して	
0	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	、利用者、関係機関	
0	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及で 防止と対策の見直しに取り組んでいる		

評価項目 4-2

車業品の	情報管理	な海切に	行い活	田できる	ストスに	1.アルス	۲
*************************************	$110 \pm 12 \pm 14$	グルタリに	.1 0 1/1	$\mathbf{H} \cup \mathcal{C}_{i}$	いみ ハに	しししけん	.)

3 /4//13 113 118 12 2 2 2 3 4 1 2 4 2 3 4 2 1 2 3 4 4 2 3 4 2 4 2 3 4 2 4 2 3 4 2 4 2				
評価項目1 事業所の情報管	Α			
評価	標準項目			
0	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め ランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行ってい			
0	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように	整理・管理している		
0	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定する 止のための対策をとっている	ほか、情報漏えい防		
0	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護活利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整理し			

カテゴリー4の講評

新型コロナ対策ではフローチャート方式で必要な対応を整理しています

緊急時対応マニュアルを整備し、事故の際は速やかに対応できるよう体制を整えて備えています。また、事故が発生した場合は「アクシデント報告」を作成することになります。事故には至らない「ヒヤリハット報告」は集計をとり、分析を通じて事故の予防に努めています。新型コロナについては、フローチャート方式で対応の順序を整理しています。職員は緊急時に適切な行動がとれるよう、日頃から参照するよう努めています。また、トレーニングマシン等は、利用者が使った後に必ず消毒を行うなど、感染症予防対策を徹底しています。

港区の業務継続計画に沿って発災時の対応がとれるよう職員体制を整えています

年に1回、消防署と連携して避難訓練を行うほか、定期に安全総点検を実施しています。トレーニングルームにはAEDを設置し、利用者の体調急変時に備えています。マシン等設備の専門の点検は年に一度の事業者に依頼するほか、毎日職員が点検して安全管理に努めています。港区では震災編、新型インフルエンザ編の「業務継続計画」を策定しています。当施設は港区の施設であることから、計画に応じて発災から業務開始目標時期の再開に向けた取り組みが行えるよう、非常時の職員体制を整えています。

施設内研修では情報セキュリティ研修を実施し、情報の保護技術を確保しています

法人では、個人情報保護規定を整備し、職員は在職中、離職後も業務上知り得た情報を漏洩しないよう誓約書を提出しています。港区個人情報保護条例、港区情報安全対策指針に沿って、利用者の情報の保護を徹底しています。個人情報に関わる紙資料については、鍵付き書庫に保管し、管理を徹底しています。また、パソコンにはパスワードを設定し、アクセス権限を設けるなど、セキュリティ対策を図っています。施設内研修では情報セキュリティをテーマに職員の意識の向上、管理技術の習得を目指して開催しています。

■カテゴリー5 職員と組織の能力向上

評価項目 5-1

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる			
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている A			
評価	標準項目		
0	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している		
0	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来 えた異動や配置に取り組んでいる	その人材構成を見据	
評価項目2 事業所の求める	る人材像に基づき人材育成計画を策定している	A	
評価	標準項目		
0	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展覧員に分かりやすく周知されている	望(キャリアパス)が職	
0	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している		
評価項目3 事業所の求める	る人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる	Α	
評価	標準項目		
0	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実	施している	
0	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定して	
0	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修る)	修)計画へ反映してい	
0	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良 組織的に支援を行っている	とい指導ができるよう	
評価項目4 職員の定着に向	可け、職員の意欲向上に取り組んでいる	А	
評価	標準項目		
0	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇 どを連動させている	進・昇格等)・称賛な	
0	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスして働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	など)を把握し、安心	
0	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んで	いる	
0	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行ってい	<u></u> いる	

いる

評価項目 5-2

組織力の向上	に取り組んでいる	
評価項目1 組織力の向上に でいる	こ向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組ん	Α
評価	標準項目	
0	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を過	 通じて共有化している
0	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話 質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	し合い、サービスの
0	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に	こ進むよう取り組んで

カテゴリー5の講評

港区内の法人事業所で館長会議を構成し、職員の応援体制をとっています

法人ホームページにリクルートコーナーを設け、求職者向けに情報提供を行っています。募集要項のほか、 先輩職員のインタビュー、採用ブログ、WEB説明会など、採用に向けた工夫を行っています。さらに職員の中 からスカウターを選任して、大学、養成校への求人活動を行うほか、インターシップなどにも取り組んでいま す。10月に次年度の希望をとったうえで、法人では人事異動を行い、組織の活性化と人材育成を図っていま す。港区の法人内事業所では、港区館長会議を構成し、欠員の出ている事業所の応援体制をとっています。

グループ内の法人が参加する実践研究発表で表彰を受けています

個人別の目標管理制度を運用しています。職員は専用のシートを使って、年2回、業務について自己評価を 行うとともに、上長による他者評価を受けています。管理者は面接を通じて、職員の目標管理、職業能力の開 発を支援しています。毎年度、事業計画に研修計画を示し、テーマ別の施設内研修を行うとともに、法人研 修、外部研修に職員を派遣し、スキルアップを支援しています。法人には「こやま研究発表会」として実践研究 の発表、共有の機会があります。当施設は昨年度、ビニール袋の再利用の事例で表彰されています。

法人ではワークライフバランス推進に向け福利厚生制度を充実させています

職員は外部研修に参加した場合、報告書作成を通じて振り返り、報告・発表を通じて成果の共有に努めています。法人では、個人別目標管理制度を踏まえた総合的な人事評価制度を運用し、結果は昇給、昇格に反映しています。法人ではワークライフバランスを重視し、福利厚生の一環でホテル等の割引制度や新卒向け奨学金補助制度、有給休暇の取得推進、リフレッシュ休暇、ハッピー休暇の取得勧奨などに取り組んでいます。また、年に1回、ストレスチェックを行うなど、ストレスマネジメントを実施しています。

■カテゴリー7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

評価項目 7-1

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映 を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具 体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につ なげている(その1)

Α

目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等の取り組み

前年度、コロナ禍による行動制限のため、開館時間の短縮や休館などの対応を行いました。また、健康増進のプロジェクトやお祭りなど地域のイベントなども中止となりました。そこで当該年度は「多くのお客様に利用頂くとともに、地域との連携を進める」ことを目標としました。この実現のため、コロナの感染状況を見ながら、感染症予防対策を徹底したうえで代替のイベントを企画し、利用者にお便りを通じて周知しました。さらに中断していた健康度測定を再開しました。なお、自粛期間中は、職員研修を通じて予防対策や緊急対応などの知識、技術の習得に努め、実践に反映して利用者の安全・安心の確保に努めました。取り組みの結果、自粛していた利用者の再利用につながり、教室の再開も進みました。この振り返りの結果を踏まえ、今年度は研修を通じて利用者の安心・安全の確保につなげ、利用者の増加を目指しています。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具 体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につ なげている(その2)

Α

目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等の取り組み

前年度の振り返りの結果、「攻める健康管理」を行うことの必要性を職員と共有しました。そこで、この実現のために職員がより一層の専門知識・技術を習得し、この専門性を地域に還元することを目標としました。取り組みでは、事前調査で健康増進の最新の理論、実践などの情報を収集し、これに応じた外部研修を選定しました。これに沿って年間研修計画を作成し、職員を計画的に研修に参加させました。受講した職員は報告書の作成、発表を通じて成果を全体で共有し、新しいテーマの教室を開発できました。一方、効果的な広報を行うことができなかったので、参加者は思うように確保できなかったと振り返っています。この反省を踏まえ、今年度は当該教室の広報を積極的に行うとともに、より専門性を高めるための研修に職員を派遣して、獲得した知識・技術をプログラムに反映するよう努めています。

■カテゴリー6 サービス提供のプロセス項目(6-1~3、6-5~6)

評価項目 6-1

サービス情報の提供				
評価項目1	minimit in the second of the s			
利用有寺に対し	てサービスの情報を提供している			
評価	標準項目			
0	 1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供し	ている		
0	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている			
0	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している			
O 4. 利用希望者等の問合せや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している				
サブカテゴリー1の講評				

施設の情報は、ホームページやリーフレットなどでわかりやすく提供しています

施設に関する情報は、パンフレットやリーフレットの関係機関への配付、施設内へのポスター掲示、広報みなとや港区および法人のホームページへの掲載などを通じて、幅広く発信しています。法人のホームページには、施設の基本情報や利用内容、お知らせ、利用のメリット、健康度測定・健康教室・トレーニングルーム・体育館など、施設の内容が分かる写真を多く取り入れ施設をイメージしやすいように工夫して利用希望者に向けて情報提供しています。また、気軽に手にとりやすく、見れるよう、A4版カラーのリーフレットなどを作成し、わかりやすい情報発信に取り組んでいます。

幅広く情報発信を行い、施設利用の向上に向けた取組が行われています

施設利用希望者の問合せや見学には、随時対応し、ご希望に応じて連絡先等の登録票への記載を行い、情報を蓄積しています。見学時には、施設内を見学しながら、「始めましょう!攻める健康管理」が特徴であることを伝え、具体的な取り組みを丁寧に紹介しています。なお、現在、コロナ禍のため積極的な取り組みは自粛していますが、今後は、子育て世代の利用促進を図っていくことが考えられているため、利用対象者やニーズを捉えたさらなる情報発信の方法や工夫を検討していくことが期待されます。

評価項目 6-2 利用者支援事業の実施 評価項目1 Α 利用者が施設を快適に利用することが出来るように、利用者支援事業を適切 に実施している 標準項目 評価 1. 利用者が快適にトレーニング機器を使えるよう、利用方法や注意事項に関する説 0 明を実施している(トレーナーの配置、説明文章の配布など) 2. 定期的にトレーニング機器を活用したプログラム内容の見直しを実施し、地域住 0 民や利用者のニーズを取り入れた工夫がされている 評価項目2 Α 健康・体力チェック(健康度測定)を行い、個人にあった健康トレーニングメ ニューを作成している 評価 標準項目 1. 健康度測定事業の実施計画を作成している 0 2. 利用者にあった健康トレーニングメニューを作成している 0 3. 健康・体力チェック(健康度測定)の実施後、利用者が継続した運動参加を促す 0 ための働きかけを実施している 評価項目3 Α 利用者に対する運動実践指導を行っている 評価 標準項目 1. 利用者とのコミュニケーションを図り、健康づくりのための適切な指導、助言を実 0 施している 2. 健康度測定を受講していない利用者に対し、簡易な問診表を使い、身体状況や 0 運動目的等を確認し、個々にあったプログラムを提供している 3. 病後の機能回復、高齢者の体力維持・増進など利用者のニーズを的確に把握 0 し、個々の利用者にあった運動の指導・助言等を実施している

常時対応できるようトレーナーを配置し、利用者の安全・快適な施設利用に努めています

サブカテゴリー2の講評

利用者が安全で快適にトレーニング機器等を使えるようにトレーナーを常時配置し、使い方の説明やわからない点の質問等にいつでも対応できるようしています。また、定期的にマシン講習会を実施、初めての利用者にも気軽にトレーニング機器が使えるように取り組んでいます。健康度測定(健康・体カチェック)では、適切な実施に向けて健康度測定マニュアルを整備しています。また、一人ひとり個別の健康度測定計画を作成し、問診票とトレーニングカードに基づく健康トレーニングメニューに従って状態をチェックしながら、理学療法士や健康運動指導士、管理栄養士が連携し、専門性の高いプログラムを提供しています。

医師・健康運動指導士・管理栄養士等が連携し、専門性の高い健康づくりの支援が行われています

健康度測定では、港区の医師会と連携し、適切な測定結果を得ることができます。測定結果に基づき、健康運動指導士や理学療法士による個別の運動メニューの作成や管理栄養士や医師によるカウンセリングなどが行われ、栄養と運動が連動した専門性の高い総合的な健康づくりおよび生活習慣予防・改善の取り組みが行われています。また、通常、健康度測定受診者に対しては、健康づくりコース(全10回)、生活習慣病予防・改善コース(全20回)、セルフトレーニングコースのトレーニングメニューがあり、運動を継続することができます。なお、健康度測定について、今年度はコロナ感染症の状況を把握しながら、週2回を週1回に、定員も減らすなど、安全管理ができる範囲で実施しています。

評価項目 6-3

指定管理料の執	执行状况 		
評価項目1 指定管理料は過	適正に執行されている	Α	
評価	標準項目		
0	1. 経理を担当する職員を配置し、適切な経理書類が作成されている		
0	2. 収支決算書に記載されている費目に関し、伝票が存在する		
0	3. 外部の監査を受けている		
評価項目2 仕入、発注、業	務委託は適切に執行されている	Α	
評価	標準項目		
0	1. 仕入、発注、業務委託における業者の選択は、適正に行わ	れている	
0	2. コスト削減のための策を講じ、実施できている		
	2 業改禾江の初幼は「英切に行われている		
0	3. 業務委託の契約は、適切に行われている		

経理担当課長の管理のもと、ISOに準拠した書類を整備し、適切な予算の執行が行われています

指定管理料執行に伴う経理処理は、経理担当課長が常駐し、法人で取得しているISOに準拠した標準化が行われています。また、収支については、毎月の予算・決算により確認を行い、適正な執行がなされています。業務の外部委託等においては、適宜、相見積等を行い業者査定を行っています。物品等購入についても、複数の見積徴取による比較等を行い、経費削減に努めています。

評価項目 6-5

事業所業務の標準化				
評価項目1	評価項目1			
手引書等を整備	し、事業所業務の標準化を図るための取組をしている	^		
評価	評価 標準項目			
O 1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの本事項や手順等を明確にしている 2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している		ているサービスの基		
		うっているかどうかを		
0	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等 を活用している			
評価項目2				
	をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取組をして	Α		
いる				
評価	標準項目			
0	O 1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている			
0	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や利用者等からの意見や提案、利用状況を反映するようにしている			
〇 3. 職員一人ひとりが基本事項や手順等の改善に取り組んでいる				

評価項目3 様々な取組によ	<り、業務の一定水準を確保している	Α	
評価	評価標準項目		
0	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項体に行き渡るようにしている	[や手順等が職員全	
0	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供	にている	
0	3. 職員全員が、利用者の安全性に配慮できるようにしている		
0	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、上司や先 ている	輩等が助言・指導し	
0	5. 職員は、わからないことが起きた際に、上司や先輩等に相言る	炎し、助言を受けてい	
サゴナニゴル この誰証			

サブカテゴリー5の講評

各種マニュアルを整備、必要に応じ業務手順の点検・見直しを行いサービス向上や業務改 善に活かしています

施設運営で活用するマニュアル類は、トレーナー業務マニュアルおよび事務管理の業務マニュアル、緊急対応マニュアル、健康度測定マニュアル等が整備されています。業務の基本事項や手順等について、業務確認チェックや安全点検チェックなどを活用し、適宜、業務の見直しと確認がなされています。各マニュアル類は、必要に応じて活用できるようにし、わからないことが起きた場合は、マニュアルを確認後、基準に沿った対応がなされています。施設運営において、法人で取得しているISO9001に準拠し、業務の標準化に向けた取り組みがなされています。

意見ボックスの設置や利用者アンケート等を実施し、意向把握を行い業務改善に反映して います

施設で活用しているマニュアル類については、適宜、内容の検討・確認を行い、修正等の必要に応じてマニュアルに反映させています。また、利用者の意向や要望の把握に向け、ご意見ボックスの設置、年1回の利用者アンケート等に取り組んでいます。アンケート結果は、レポートにまとめて集計による定量的分析、自由記述などの定性的分析を行い、サービスの質の向上に向けた運営改善の基礎資料として役立てています。さらに、把握した利用者意向等は、次年度の事業計画を検討する際の評価と反省、見直しに活用し、必要に応じた改定や次年度への反映などを行いっています。

|業務の一定水準を確保するため、申し送りノートを活用し、職員間で共有化を図っています

日々の業務や打合せ、会議等で個々の職員から挙げられたマニュアルの内容変更、業務提案、課題・問題点 等については、申し送りノートで職員間で共有を図り、適宜、個別に業務改善の解決がなされています。一方 で、施設全体での話し合いや検討、意思決定の面では課題意識も伺われたことから、今後はさらに、施設全体 で共通の理解を深めていくため、部署会議の設定や、全体職員会議でのとりまとめや意思決定を行う仕組み を整備していくことが期待されます。

■カテゴリー6 サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

評価項目 6-4

自主事業等の適切な実施

評価項目1 メディカルチェック事業の計画を策定している 評価 標準項目 〇 1. 健康増進に関する事業としてメディカルチェック事業を計画し、実施している 〇 2. 実施回数、参加者数の数値目標を設定し、その都度検証を行っている 〇 3. 定期的に事業の見直しを図るとともに、事業の新たな企画、実施につなげている

評価項目1の講評

年度末に事業の振り返りと評価・反省を行い、次年度計画に活かしています

「始めましょう! 攻める健康管理」を施設の特徴として、健康増進に向け積極的にメディカルチェック事業の計画・実施に取り組んでいます。健康度測定では、港区医師会の協力の基、連携しながら適切な測定結果を得ています。健康度測定で、オリエンテーション・問診・身体測定・体力測定・運動負荷検査等を行い健康増進・健康づくりのための計画が立てられています。コロナ禍においては、実施日程が少なくなっているため、開催件数や参加者数等の数値目標の設定は行わず、安心安全の確保を課題として、できるだけ利用してもらえるよう工夫しています。

評価項目2		Α	
メディカルチェッ	メディカルチェック事業を実施している		
評価	標準項目		
0	1. 健康増進・健康づくりのため、運動負荷検査(健康度測定)	を行っている	
0	2. 生活習慣病予防・改善や健康づくりの場を提供している		
0	3. バランスのとれた運動や生活、食事等について指導している	3	
		·	

評価項目2の講評

健康度測定結果に基づき、利用者一人ひとりの状態に応じた指導・支援がなされています

健康増進・健康づくりのため、オリエンテーション・問診・身体測定・体力測定・運動負荷検査等の健康度測定を実施し、一人ひとり個別記録(カルテ)を作成しています。生活習慣病予防・改善では、全20回のコースを提供し、健康度測定結果のカルテに基づき、医師や管理栄養士によるカウンセリング、健康運動指導士によるトレーニングメニューの作成や指導等が行われ、利用者一人ひとりに応じた支援が行われています。利用者が自らの健康状態を把握しながら、食事・生活・運動が連動した実施を支援しています。

評価項目 6-4

自主事業等の適切な実施

評価項目3 運動実践指導を適切に行っている

~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	<u> </u>	
評価	標準項目	
0	1. 健康度測定を終了した人を対象とした運動実践指導のコーる	スを企画・開催してい
0	2. 各コースは計画に基づき、必要回数実施している	
0	3. 各コース集団指導に必要な人員を配置している	

#### 評価項目3の講評

運動実践指導のコースを設定し、利用者が状況にあわせ選択できるよう取り組んでいます

健康度測定を受診した方を対象に、運動実践指導の健康づくりコース(全10回)を提供しています。健康づくりコースでは、ベーシック1および2、アドバンスの3種類のコースを設定し、利用者の状況に合せて選択できるようにしています。各コースにおいて、健康運動指導士が専門性を持ってしっかりとプログラムを計画し、適宜、チェックをしながら実施しています。また、セルフトレーニングコースでは、トレーニングメニューに基づいて、一人ひとりが自由な時間に活動できるようにしています。

評価項目4 健康づくり教室の	の計画を策定している	В
評価	評価標準項目	
0	1. 健康づくり活動支援事業として健康づくり教室を開催してい	<b></b>
0	2. 参加者意向、地域の二一ズや環境を踏まえて、教室を企画している	
0	3. 実施回数、参加者数の数値目標を設定し、その都度検証を	行っている
0	4. 定期的に見直しをして、教室の新たな企画、実施につなげて	こいる

#### 評価項目4の講評

利用者意向や地域のニーズを踏まえた様々な健康教室が計画、実行されています

健康づくり活動支援のフィットネスプログラムとして、バランスボール、ヨガ、マットピラティス、太極拳、ゆったり気功などの各種健康教室が企画、実施されています。ご意見ボックスや利用者アンケート、地域のニーズ等を踏まえた様々な健康教室が企画され、それぞれ開催内容、目的、時間・曜日を設定し、一覧表にして周知しています。なお、コロナ禍において新しい教室の企画や開発、活用については制限しており、コロナ感染症の状況を把握しながら柔軟な対応に努めています。

#### 評価項目 6-4

延価項目6

0

自主事業等の適切な実施

#### 評価項目5 健康づくり教室の実行に取り組んでいる

Α

主味 フィッ教主の	の夫1月に取り組んでいる
評価	標準項目
0	1. 初心者や中高年齢層にも参加しやすい教室を開催している
0	2. 運動強度を考慮した参加者が継続できる教室を開催している
0	3. 教室参加者の声を把握するための取組(アンケート等)を行っている

#### 評価項目5の講評

健康づくり教室の内容や目的を明確にし、参加対象者を想定しながら、利用者ニーズを踏ま えた実施がなされています

健康づくり教室は、内容や目的を明確に示し、地域、医療系、子育て、働き盛り、女性・男性限定などの想定される参加対象も設定しながら、利用者ニーズに合った教室を実施しています。また、参加者の身体状態を考慮しつつ、個々の運動状況を確認できる人員配置を行い、無理なく楽しく参加できるよう努めています。なお、現状の利用者アンケート結果等では把握しきれない子育て世代については、今後、ソーシャル・ネットワーク・システムの活用、児童館や企業等との連携などを通じてニーズ把握を行い、さらなる子育て世代に受け入れられやすいプログラムの開発・提供も期待されます。

健康づくり教室の	の実行に適切な人員を配置している	Α
評価	標準項目	
0	  1. 健康づくり教室の実現のために適切な人員を配置している	

0	3. 教室指導員はCPRやAEDの取扱い等に関する研修を受けている

2. 教室指導員の指導スキルを定期的に確認している

○ 4. 教室指導員のCPRやAEDに関連する資格所持の有無を施設長が把握している

O 5. 健康づくり教室中の傷病者·事故対応についてのマニュアルが整備されている

#### 評価項目6の講評

有資格者を適材適所に配置し、研修による学びの機会とスキルの向上に取り組んでいます

健康づくり教室に必要な人材について、資格保有者を優先的に採用し、人材の登用と配置が確保されています。健康づくり教室には、健康運動指導士や管理栄養士等の資格保有者を適材適所に配置しています。指導スキル等については、年2回(半年に1回)に力量評価表に基づくて評価がなされています。例年、教室指導員は、AED等の取扱いを含む救急対応について、計画的に研修を受講し学びと改善に努めています。

|事故・ケガ等についてのマニュアルが整備され、適切な対応が心がけられています

職員の学びの機会として、毎年度、事業計画に研修計画を示し、テーマ別の施設内研修を行うとともに、法人研修、外部研修に職員を派遣し、スキルアップを支援しています。研修受講後は、研修報告や発表の機会等により、職員のスキルや能力向上の把握がなされています。事故・ケガ等については、事故対応マニュアルを整備し、適切な対応がなされています。また、施設内にいては、ヒヤリハットに取り組み、情報漏えいや苦情対応等のリスクに対して、職員意識の向上に努めています。

#### 評価項目 6-4

自主事業等の適切な実施

# 評価項目7 **健康増進の普及啓発を行っている** 標準項目

評価	標準項目
0	1. 健康増進の普及啓発のための取組を計画し、実施している
0	2. ホームページ等による健康づくりの情報の提供を行っている
0	3. 健康づくり教室の紹介やスケジュール情報の提供を行っている
0	4. 健康づくり講演会を開催している
0	5. 赤坂コミュニティーまつりにて、健康増進の普及啓発活動を行っている
0	6. 定期的に見直しをして、計画の策定に反映している

#### 評価項目7の講評

#### 健康増進に関する情報発信やイベント開催等が行われています

健康増進の普及については、区や法人のホームページ、港区コミュニティ情報誌「キスポート」、広報みなと等 を活用して、施設や講座、教室等の情報発信をしています。健康教室、セミナー、イベント等を年間計画に基づ き開催しています。例年、様々な健康づくりに関するイベント等を開催していますが、今年度は、健康づくり講 演会の中止を含め、コロナ感染症の状況を把握しながら、できる範囲で取り組んでいます。

評価項目8		В			
グループ育成支	グループ育成支援を行っている				
評価	標準項目				
0	1. 健康増進事業などで結成された自主グループを育成してい	る			
0	2. 自主グループのリーダーを養成し、団体の活動を支援してい	いる			
0	3. 定期的に見直しをして、計画の策定に反映している				
部価値目の企業部					

#### 評価項目8の講評

自主グループの立ち上げには利用者の考え方に柔軟に対応し、必要に応じて支援しています

グループ活動については、事業の参加者の中でグループを立ち上げたい方がいた場合、支援を行っています。参加者の考え方や自由意思による支援を中心に考えています。また、現在、コロナ禍であることから、団体活動を見合わせることもあり、自主グループの立ち上げ支援も状況を見ながらの柔軟な対応となっています。

#### 評価項目 6-4

自主事業等の適切な実施評価項目9A利用者懇談会を実施している標準項目

利用者懇談会を実施している		<b>/</b> \
評価	平価 標準項目	
0	1. ヘルシーナ利用者、港区、指定管理者の意見や情報交換の 談会を開催している	)場として、利用者懇
0	2. 利用者懇談会での意見を事業や計画に反映させている	
0	3. 自主事業等の内容を定期的に見直し、教室の新たな企画、	実施につなげている

#### 評価項目9の講評

利用者懇談会を開催し、情報交換や交流により、コミュニケーションを深めています 利用者、みなと保健所、施設管理・運営者等が参加する利用者懇談会を開催し、情報交換や意見交換等を実施しています。利用者懇談会で得られた意見・要望等については、施設運営や事業計画に活かしています。コロナ禍における施設の対応について、利用者の意向を把握していきたいと考えています。今後も継続して利用者懇願会を開催し、利用者の意見や要望をより把握し、コロナ感染症が落ち着いた後、さらなる向上に取り組んでいくことが期待されます。